

11月です。皆さまのミタクリは開設12周年を迎えました。本当にありがとうございます。これからも、ONE TEAMを合い言葉に皆さまのお役に立てますよう頑張っていきたいと思っております。

11月はミタクリの誕生月、2007年11月1日にこの地で産声を上げて丸12年、そして13年目に入りました。本当にありがとうございます。丸12年といえば、干支が一巡したわけですね。初日に来院された方々のお顔、いまでもよく覚えています。開業当時の機器搬送や模擬診療のことを話題にすると「先生、またその話ですね」とスタッフがにこっ。鳳駅のロータリー化もようやく実現し、バスが上がって来て、多くの方の通院にも便利になったかと思えます。診察室では、お互いに泣いたり、笑ったり、時にはズバツと切り込んで怒らせたり・・・ミタクリは私たちと皆さまの真剣に向き合う場です。皆さまの一人お一人の期待にこれからもお応えできるように、初心にかえってスタッフ一丸でスクラムを組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

【ニュース】

1. 診療日の変更をお知らせします。

11月1日(金曜日) 三谷休診 巽外来は通常

2. 黒飛友里先生の地域医療研修が終了しました！

堺市立総合医療センター研修医2年目、黒飛友里先生のミタクリでの研修が終了しました。外来・訪問診療、地域包括支援センター、訪問看護ステーション、障害支援センターでの学び、さらに司法書士の先生の講義、そして「ちぐさのもり」での発表と盛りだくさんでしたが、よく頑張って吸収して下さいました。将来は糖尿病の専門医を目指されるとのこと、私たちの「また、堺に帰ってきて下さいね」のエールに力強く「はい！」と答えておられました。堺の未来は明るいですよ。

3. インフルエンザワクチンの接種が始まりました

実施：2019年10月21日(月)～2020年3月末(助成期間は2020年1月末まで)

当院での費用(自己負担額)は次のとおりです。

1) 堺市在住の65歳以上の方(接種日時点)

自己負担額 1,500円

2) 13歳から64歳以下の方および堺市外の65才以上の方 → 接種回数1回 自己負担額 3,500円

3) 3歳から13歳未満の方 → 接種回数2回

1回目、2回目ともに 3,500円

なお対象の方で、市民税非課税の方は自己負担金が免除です(介護保険料納入通知書を窓口にご提示ください)。

【欣子先生の診察室だより ～女性のおしっこ問題～】

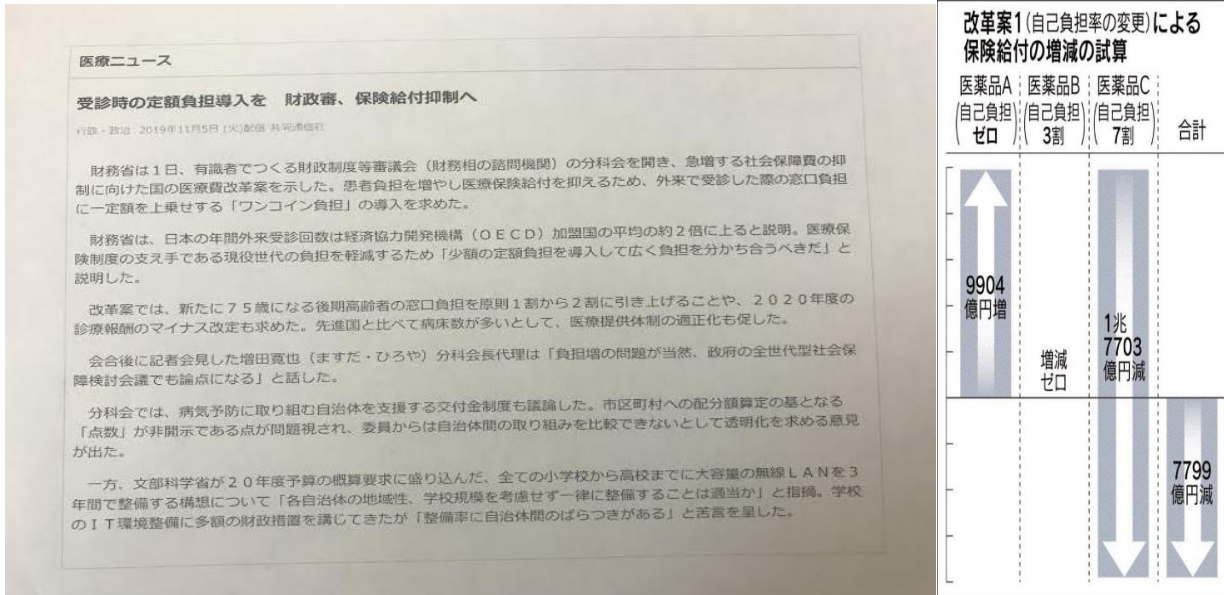


今回は三谷先生の熱を感じて・・・2面をお譲りしましたので縮小版です！

やっと・・・朝晩寒くなってきましたね。そのせいか最近の診察室は“おしっこ”の話が増えてきました。特に、「夜間尿」です。何度もおしっこで目が覚める・・・という訴えです。よくよくお話をききますと、夏場と同じぐらい夜に水分を取りすぎていることが多いのです。夏場脱水にならないように寝る前に水分をたくさん取る習慣をつけている方、もう汗をかかなくなったので余った水がおしっこにいきますよ。

朝昼は水分を十分とってもいいですけど夜は夏より控えめにしましょう。夜の水分減らしてみただけど、やっぱり夜間尿が多いという方。男性は前立腺肥大という病気が多いので泌尿器科に紹介することが多いのですが、女性で「急にトイレに行きたくなる」「間に合わず漏らしてしまう」「水を触ると漏れそうになる」などの症状が加われば、過活動膀胱が疑われます。膀胱って水をためる筋肉の袋なのですが、いろんな原因で膨らみきらず勝手に縮んでしまう状態をいいます。今はいいお薬があり、コントロールしやすくなっています。トイレを気にして旅行や人に会うのをためらったりするのはもったいない！ある患者さんが言いました。「先生、あのお薬のおかげでな、失敗しない女“になったわ！！”」「私、失敗しないので！」やな！」とドクターX気取り。診察室で大笑いしました。うちのクリニックには二人の女医(女らしさのない二人ですが”笑”)がいますので、下(しも)のご相談も恥ずかしがらずお気軽に。

【ミタクリ緊急告知 私たちは漢方薬の健康保険外し・患者負担引き上げを断固許しません】



今回は皆さんにどうしても知っていただきたいことがあり、この面を譲り受けました。

「えっ！漢方薬が健康保険から外されるの？」「花粉症のおくすりも？」「いつも使ってる貼り薬、高くなったやん」漢方薬は、昭和51年(1976年)に健康保険がきくようになりましたが、保険外しの画策は昭和58年(1983年)に第1回目の、その後も数年に1回大きな動きがあり、その都度、患者さんと力を合わせ「健康保険から外さないで！」の署名活動を行ってきました。これまでは厚生労働省が表だっていましたが、今回は財務省が「財政上の問題」として漢方薬を抗アレルギー薬や鎮痛剤、湿布薬、ビタミン剤などの一般市販薬類似薬(これをOTC類似薬と呼びます)として負担増の検討対象とする答申が出されています(資料1 2019年11月1日)。漢方薬だけではありません。「先生、膝に貼るおくすり入れといてね。」「この季節鼻水がしょっちゅう出るようになってきたの。あの錠剤よろしくね。」も、これまで通りに「はい、わかりましたよ」とはならず、「あれ？先生。おくすり代メチャ高くなってない？」「ごめんね。おくすりの負担率が変わったんですよ。」(資料2)とお答えしないといけなくなります。「そんなあほな！」その後の情報では漢方薬に関しては負担増だけでなく、保険除外も含めた議論がなされています。状況はかなり切迫しています。財務省が意見を聞く経済諮問会議には、医療関係者は一切含まれず、徹底的に「経済レベル・お金の問題」の観点で医療に大なたが振るわれようとしています。ここまで財務省が積極的に動くことはこれまでありませんでした。まだ厚生労働省からの声明は出されていません。いずれにしても、今後の保険給付関連の動向には目が離せません。

【外来担当医一覧 2019年11月現在】

予約電話番号：072-260-1601

診察受付時間	月	火	水	木	金	土
午前 (9:00-11:00)	巽 米本	米本 三谷	巽 三谷	巽 米本	巽 三谷	三谷
午後 (14:00-16:00)	巽(予約) 米本(訪問診療)	巽(訪問診療)	巽(予約) 三谷(訪問診療)	巽(訪問診療)	巽(予約) 米本(訪問診療)	
夜診 (16:30-18:30)		三谷	三谷		三谷	